

《令和8年度 研究会活動紹介》

研究会名	代表者氏名
仏教文化におけるメディア研究会	嶋田 毅寛
研究会名 略称:メディア研	所 属:大正大学総合仏教研究所研究員
活動紹介	
<p>【活動内容】 仏教文化におけるメディア研究会では、近現代日本のメディアにみられるブツダ像・宗祖像・高僧像など、または完全に創作された仏教的人物像(キャラクター像)について考察しています。近現代日本のメディアを通して生成される仏教的人物像には、19世紀末の西欧諸国で発達した近代仏教学の学知にもとづいて形象化されるものがあります。しかし一方で、近代化を進める日本の国家思想や国際情勢、同時代の思想や価値観、キリスト教との接触、個人的信条を背景とした史実から乖離していく仏教人物像も表現されてきました。本研究会では、そうした史実から乖離していく仏教人物表象がいかに創出され、神話化されていったのか。また実証的研究で虚構とされる信仰的記憶や創作性の高い宗教表象が仏教文化においていかに利用されてきたのかについて明らかにします。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など 森 覚編『メディアのなかの仏教—近現代の仏教的人間像』(勉誠出版、2020年) 森 覚／大澤絢子編『読んで観て聴く近代日本の仏教文化』(法藏館、2024年) 佛教文化学会第32回大会シンポジウム「発信される仏教 読んで 観て 聴く 佛教文化」</p>	
<p>【令和8年度活動計画】 令和8年度は、仏教文化におけるメディア研究会第Ⅳ期活動の成果である研究論集の刊行準備に入ります。研究会は定期的に開催する予定ですが、論集の内容に関する議論が中心となる予定です。興味がある方はご参加ください。</p>	